

国政では年金改悪、憲法改悪

県政では人工島で税金のムダづかい

さらに石播問題では **大企業べったり** が、いっそう浮きぼりに

鹿児島市議会
- 6月議会 - で
明らかになった
県政の問題点

石播跡地問題

これまでに、ばく大な税金をつぎ込ませ、全面撤退!!
あとの土地については切り売りでボロもつけの道!?
「党市議団の追及に「遺憾」と市長答弁」
一昨年の一月、石川島播磨重工業は、須賀龍郎知事と赤崎義則市長にたいし、「石川島播磨重工業の鹿児島からの全面撤退」を表明しました。そして、今年五月二十八日には、県、市にたいし、「石播による土地活用を断念し、第三者に土地を分譲、もしくは賃貸にしたい」という申し入れがなされました。
六月議会で左記のような問題点が明らかに!

1 石播優遇に知事がつぎ込んだケタはずれの大金。みんな、県民・市民の税金です。

石播用地の埋め立てに、当時の金で139億3,000万円（面積で按分）の税金を投入

「石播工場は3000人の雇用で水不足」その対策として万之瀬取水、川辺ダム・平川浄水場建設に税金投入。完成したが、県はいまだに工業用水を一滴も使用せず！

総事業費 508億4,800万円のうち
市の負担分 約258億8,500万円
県の負担分 約249億6,300万円

その借金払いに市は16年度だけで12億8,000万円余り（県は資料を公表せず。）

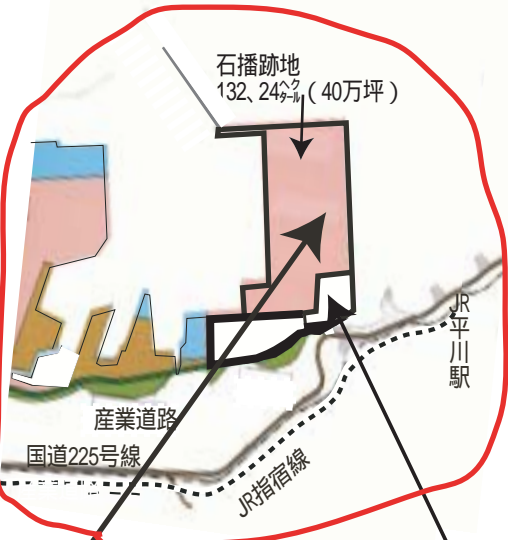
土地分譲価格でも石播には安く 県内企業には高く

石播には坪32,568円(当時) 県内企業には坪59,223円(当時)で売却

2 石播の不誠実な態度、度重なる協定違反には目をつぶる。石播の土地を安くで買い戻せる契約条項発動を拒んだ知事責任は重大

石播が工場進出延期を申し入れるたびに日本共産党市議団は、度重なる契約違反を議会で追及。買いもどし条項（土地売買契約書に書かれている）の発動を求めましたが、知事も市長も石播をかばってきました。

3 鹿児島と同じ時期に閉鎖された東京江東区の石播跡地は、賃貸住宅・マンション建設などに土地の切り売りをし、ボロもつけ。鹿児島でこの方式がとられたら市民のための活用はできなくなります。



この間一貫して問題点を指摘してきた日本共産党市議団

人工島問題

「これまで」と「これから」どうなる

でたらめ その1

「あと七億円で供用開始」どころか さらに税金投入

平成十五年度までの総事業費は百十五億
平成十六年度の事業費は五十四億
二千万円(平成十五年度の二・六倍)
残事業費に九十九億四七六五万円

それでも24kmの護岸わくができてあがるだけ

でたらめ その2

わくはできあがっても さらに土砂搬入での税金投入も

土石流土砂も不足! 県の計画では「桜島の大爆発を期待」
「土砂をもってくる費用は国」というが、それも税金
西之谷ダムの土砂搬出も、今だに土地買収終わらず、間に合わないこと明らか この費用も県費として税金投入

でたらめ その3

土砂搬入の現計画では 錦江湾の汚染は必至

土砂搬入の手法変更は
いまだに鹿児島市には説明なし
このままの土砂搬入では
錦江湾の汚染すすむこと明らか

でたらめ その4

これからもつづく借金返済

将来展望ないことは明らか
二十数年つづく借金返済
県財政ひっぱくの要因は、
豪華県庁舎(全国第三位の事業費)
につづく人工島建設など

福祉・教育の予算はばつり削る!
今こそ抜本的な県財政の見なおしを

【生活相談】 毎週月曜日 午後1時~4時
お気軽にご相談ください
市議団控室 TEL. 216-1440(直通)
なるべく事前にご連絡下さい



(部内資料)

石播跡地は市民のために活用させましょう!